令和4年度　授業改善推進プラン

学力向上を図るための全体計画

練馬区立大泉第六小学校

関係法規

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 都、区教育委員会の教育目標・指導の重点

学校教育目標

人間尊重の精神を尊び、多様な人々と協働して、よりよい社会の創り手となるように、心身共に健康で、人間性豊かな知・徳・体の調和のとれた、国際社会に寄与できる児童の育成を目指し、次のような教育目標をかかげる。

・すすんで学ぶ子　・思いやりのある子　・たくましい子

児童の実態

- 学校、地域の実態
- 地域の期待や願い
- 保護者の期待や願い
- 期待される児童像

学校経営方針

① 確かな学力向上
② 小中一貫教育・幼保小の連携
③ 特別支援教育
④ 体力向上・健康保持増進

各教科の指導の重点

（国語）
言語感覚を養い、適切に表現する能力を伸ばす。

（社会）
地域社会から学ぶ体験的な学習と問題解決的学習指導を工夫する。

（算数）
見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力と生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

（理科）
観察、実験の結果を考察する学習活動を充実させ、科学的な思考力・表現力を育てる。

（生活）
具体的な活動や体験を通して必要な習慣や技能を身に付け、自立への基礎を養う。

（音楽）
音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

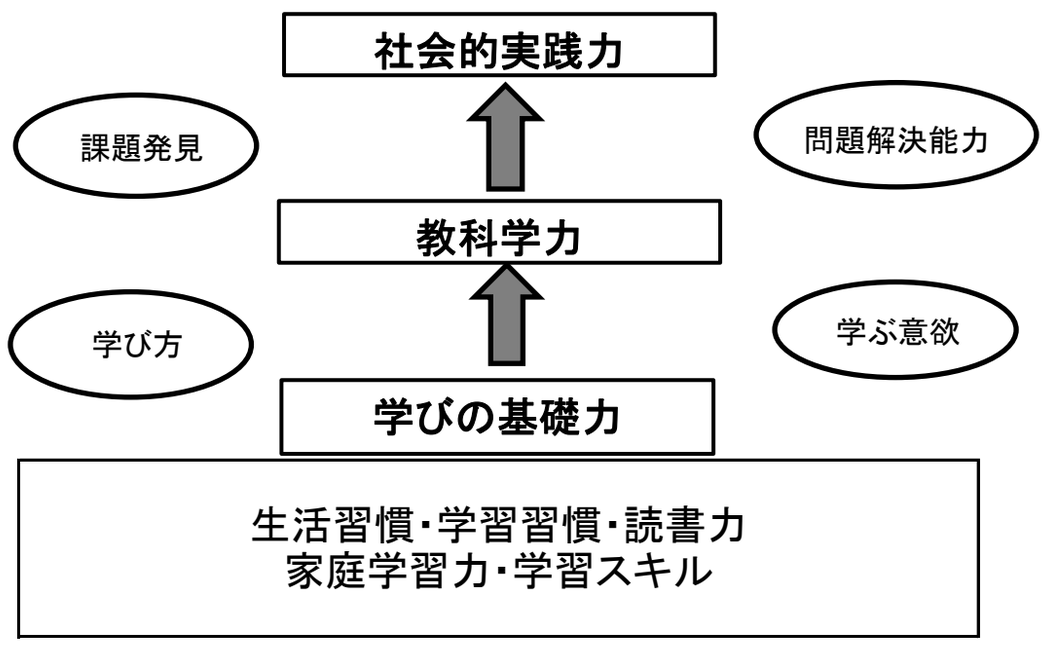
（図画工作）
造形的な活動を通して豊かな心と表現する力を育む。

（家庭）
家庭生活を創り出すための基礎的な知識や技能の習得を図る。

（体育）
楽しく明るい生活を営み、運動に親しむ資質や能力を育てる。

（外国語）
コミュニケーションを図る基礎となる資質や能力を育てる。

本校における「確かな学力」



道徳科の指導の重点

- 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。【善悪の判断，自律，自由と責任】
- 積極的に行うべきよいことと、人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養う。
- 正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないと判断したことは行わないようにする態度を育てる。
- 自律的で責任のある行動をすることができるように、自由な考えや行動のもつ意味や大切さを多面的・多角的に理解させる。

外国語活動の指導の重点

- 児童が主体的に自分の思いを伝えられる場の設定を工夫する
- ALTと連携し、児童の実態に即した活動を行う。

特別活動の指導の重点

「仲よく助け合う子ども」

- 集団の一員としての自覚をもち仲よく助け合おうとする人間関係を築く。
- 児童の発想による活動を促し、自主的・自発的態度を身に付ける。

総合的な学習の時間の指導の重点

- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- 他者と協同して課題を解決したり、地域社会との関わりを考えて生活したりする。
- 学習を振り返り、学習や生活に生かしたり、自己の生き方を考えたりすることができるようにする。

進路指導の重点

- 児童一人一人に、自他への関心や生きる喜びをもたせ、適切なキャリア教育を実施する。
- 近隣の幼稚園や保育園と連携し、幼・保・小の円滑な連携を推進する。

検証

- 児童の学力調査の結果を分析し、指導上の課題を明らかにする。
- 保護者等による外部評価を分析する。

生活指導の重点

- 3つの「あ」の励行
  「あいさつ」
  「あつまり」
  「あとしまつ」
- いじめ・体罰の根絶
  「大六スタンダード」の定着

＜週1回生活指導連絡会＞
＜学期1回全体会＞
＜特別支援校内委員会＞
＜年3回教育相談日＞
＜スクールカウンセラー＞
＜心のふれあい相談員＞

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
「大六スタンダード」学習規律の定着 主体的に伝え合う授業の実践 算数習熟度別少人数指導（全学年） 外国語活動・TT指導の充実 体験活動・言語活動の充実 ICT活用の推進 （電子黒板・PC・実物投影機・タブレットPC等） ・学習サイクルの定着 （めあて→学習活動→まとめ・振り返り）	年間指導計画の工夫 学校行事計画の工夫 週時程の工夫 読書月間・旬間 （6月）（10月）（2月） 図書館活用年間計画の工夫 なわとび旬間 クローバー遊び ペースランニング月間 外国語活動（1～4年） あいさつ週間	主体的に自己の生き方を考える児童の育成～自分の考えをもち、伝え合う道徳授業を目指して～ 年3回の授業研究 職員研修内容の重点化（アレルギー対応） 組織的な指導力の向上 課題探究型の学習の推進 地域との連携 区・都研究会への参加 研修報告の場の設定 OJT研修会（年9回）	講師・各教員が連携し評価の共通理解を図る 小テストの工夫 ポートフォリオ等個々の学習経過の記録 学習の振り返りの工夫 学校評議員・保護者・児童による意識調査	地区班別集団登下校 自転車点検・安全教室 道徳授業地区公開講座 セーフティ教室 薬物乱用防止教室 地域の施設・自然・人材等活用（野菜栽培・地域安全マップ） 南大泉図書館との連携による図書館活用の推進 保育園と連携した学習 家庭支援センター・警察・消防署 地域活動支援拠点・小中連携 子供家庭支援センターとの連携	大泉中学校、大泉小学校、大泉東小学校との4校での校区別協議会を通して、学習指導、生活指導について、情報交換をしていく。 中学の学校紹介などの交流活動を行う。 課題改善カリキュラムの活用